

気仙沼市病院事業経営強化プラン（案）に係るパブリックコメントでの意見への対応について

番号	寄せられた意見（概要）	意見に対する市病院事業の考え方	対応
1	<p>家族が退院する際は、気力・体力的にも自宅での生活が不安でしたので、入院後の在宅復帰に向け、リハビリも含めて、もう少し長い期間様子を見てもらえる地域包括ケア病棟を設置してほしい。</p>	<p>急性期病棟は病気を発症して間もない患者に対応する病棟で、令和5年12月末現在の平均在院日数は11日となっています。一方で、地域包括ケア病棟は、急性期医療を終えたが、すぐの退院に不安のある患者や一時的に入院が必要になった在宅療養中の患者に対応する病棟で、最長60日まで入院できることから、在宅復帰に向けた十分な準備が可能になります。設置については、施設基準をクリアした後に、東北厚生局へ届出（令和6年1月中の届出・同年2月からの運用開始を目的）する予定です。</p>	経営強化プラン案の修正はありません。
	<p>本吉病院が提供する在宅医療を市内全域に展開してほしい。</p>	<p>市立病院と民間医療機関との連携のもと、人材確保に努めながら、段階的に全市域に在宅医療を提供します。</p>	
	<p>総合診療の市内全域への展開とオンライン診療の導入について、早期に実現してほしい。</p>	<p>地域の医療ニーズの変化に適切に対応し、回復期医療や在宅医療の充実を図るため、総合診療医の確保や育成に努めます。また、医師不足の解決策の1つとして、この地域に合ったオンライン診療の導入について検討を進めます。</p>	